

第27回全国健康福祉祭とちぎ大会

ねんりんピック栃木 2014 ～囲碁コラム～

囲碁はわずかな時間と空間があれば、二人の人間が存分に楽しめる奥の深いゲームであり、生活に根付いた文化として親しまれてきました。

囲碁には言葉を交わさなくとも、お互いに意思の疎通ができる不思議な魅力があります。別名「手談^{しゅだん}」とも言われますが、初対面の人と一局打っても肝胆相照らす百年の知己^{ちぎ}と出会ったかのごとく感じるのは、無心に盤に向かっている間に自己がそのまま何の飾りもなく、さらけ出され相手の心の琴線に触れるからでしょうか。この幽玄極まりない囲碁。

先日、国際アマチュア選手権にマダガスカル代表として参加したマニトラ氏は、「特に印象に残っているのは、囲碁がただ単に魅力的なゲームというだけでなく、知性の改良、知能訓練、さらには人間差別（年齢・性別・肌の色・国籍など）に関係なく、人間関係の輪を広げるゲームだということ、囲碁をやることで人種を超えて一つの大きな同じ家族の中にいるような感じを受けた」と言っています。

どうぞ皆さん、このねんりんピックを通し囲碁の素晴らしさを知っていただきたいと思います。

ねんりんピック栃木2014下野市実行委員会 副会長兼競技最高顧問 戸塚 和夫



しもつけクイズ

【正解は×】ふれあい館、ゆうゆう館、きらら館があります。



田口昂征くん(国分寺東小5年)が、 第63回下野杯争奪囲碁大会で初優勝!

第63回下野杯争奪囲碁大会（主催：日本棋院栃木県本部・下野新聞社）が、3月21日、宇都宮市国本地区市民センターで開かれ、国分寺東小学校5年（当時4年）の田口昂征くん（初段）が初優勝しました。

大会は、初段以上の下野杯争奪戦、1級の登竜戦、2級以下の級位戦の3部門で行われ、38人が腕を競い合いました。田口君は、最上位部門の「下野杯争奪戦」に出場し、決勝では格上の相手（5段）との熱戦を見事制しました。

大会主催者である、日本棋院栃木県本部の戸塚本部長は、「小学生にしては非常に落ち着きがあり、将来が楽しみな選手」と話していました。

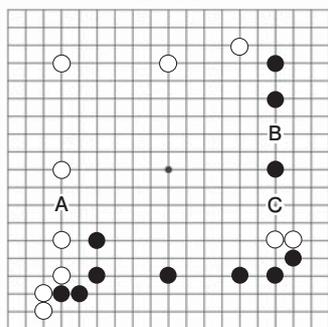


IGO! 腕だめしクイズ・・・次の一手

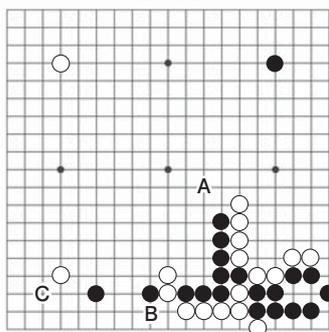
全問正解者5名に「道の駅しもつけ商品券&ねんりんピックグッズ」をプレゼント!

〔黒番〕

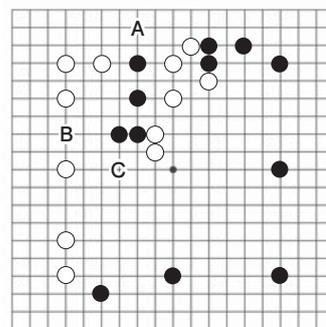
第1問



第2問



第3問



正解は6月号に掲載!

- ◆三択問題、各問次の一手をA・B・Cの中から選んでください。
- ◆応募方法は、住所・氏名・電話番号・解答を記入して、ハガキまたはFAXで送付願います。
◎ハガキ：下野市高齢福祉課 〒329-0502下野市下古山1220
◎FAX：52-3712（高齢福祉課あて） ◎応募期限：5月30日必着
- ◆正解者多数の場合は、抽選にて決定します。
- ◆当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。



4月号の正解は、
☆第1問=B
☆第2問=C
☆第3問=B
でカンビ!

問い合わせ先 高齢福祉課 ☎(52)1115